

2026 年 7 月 29 日
霞ヶ関キャピタル株式会社

猛暑下の建設現場で働く人の熱中症対策を支援
“凍ったまま”大正製薬の熱中症対策商品 6,000 個を届ける
「熱中症対策プロジェクト 2026」を今夏に実施

霞ヶ関キャピタル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：河本幸士郎、以下「当社」）は、大正製薬株式会社（本社：東京都豊島区、以下「大正製薬」）と共同で、建設現場で働く作業員の熱中症対策の支援を目的とした「熱中症対策プロジェクト 2026」を実施します。



本プロジェクトは、現場の熱中症リスクが深刻化するなか、「冷たいものを、本当に必要とされる場所へ、冷たいまま届ける」ことで現場の力になることを目指す取り組みです。

夏場の暑さが年々厳しさを増す中、建設現場で働く作業員の熱中症リスクが社会課題となっており、屋外で働く人々にとって休憩時に口にする冷たい飲料や食品は、安全と健康を守るうえで大きな支えになります。

本プロジェクトでは、国内大手ゼネコン各社が手がける建設現場 10 拠点で働く約 2,000 人を対象に、大正製薬の「リポビタンアイススラリー（清涼飲料水）」と「リポビタンゼリー（清涼飲料水）」の熱中症対策商品 6,000 個を、当社の冷凍・冷蔵物流ネットワークを活

用し、猛暑下の現場でも適切な温度管理のもと商品を届けます。

■プロジェクト背景

近年、気候変動の影響による記録的な猛暑が続くなか、令和7年における職場での熱中症の死傷者数は1,800人を超え※1、看過できない深刻な状況となっています。特に、建設現場をはじめとする屋外労働環境では、熱中症リスクへの対応が喫緊の課題です。こうした状況に加え、2025年6月施行の改正労働安全衛生規則により、職場の熱中症対策が罰則付きで義務化されたことも相まって、「冷たい飲料」や各種熱中症対策商材へのニーズが一層高まっています。この社会課題に対し、当社グループの冷凍保管サービス「COLD X NETWORK」を活用した冷凍・冷蔵物流ネットワークを用いて、大正製薬の熱中症対策商品を建設現場へ届けることで、現場の熱中症対策を支援します。こうした冷凍・冷蔵物流ネットワークの新たな活用は、社会のさまざまな課題解決に貢献できる可能性を秘めており、当社は本プロジェクトをその第一歩と位置付けています。

法制度が整備される一方で、建設現場に「冷たい状態の商品」を届けるためには、保管と物流の両面に課題がありました。熱中症対策商品をまとめて発注した場合、通常は常温で納品されるため、現場側で商品を冷やすための設備や作業が必要となります。また、冷凍冷蔵倉庫を利用しようとしても、一般的には一定規模以上の荷量や長期契約を前提とすることが多く、今回のような短期間かつ小規模な利用には対応しづらいという課題がありました。

本プロジェクトでは、1日・1ケース単位から利用できる冷凍保管サービス「COLD X NETWORK」を活用し大正製薬の商品を当社グループの冷凍冷蔵倉庫に直接納品します。倉庫内で商品を凍らせ、必要な数量を必要な期間だけ保管したうえで、冷たい状態のまま建設現場へ配送することで、これまで対応が難しかった短期間・小規模での取り組みを実現しました。

 1 お預け単位は 1日単位	 2 ご依頼は WEBで完結	 3 ご利用は 1ケースから
貨物のお預けは1日単位で！ ご利用に応じて期間を 自由に設定可能です。 ※ 契約プランにより異なります	ご利用いただく貨物単位は 1個(ケース)から！ 物量変動に合わせた柔軟な 運用が可能です。 ※ 契約プランにより異なります ※ 保管料はパレット単位となります。	空きスペースのご確認、 入出庫のご依頼などは、 専用のWebページで完結！ 在庫管理や請求書の発行まで 幅広く対応しております。

※1 厚生労働省 令和7年「職場における熱中症による死傷災害の発生状況」より参照

■プロジェクトのポイント

- ・2025年6月施行の改正労働安全衛生規則により、職場の熱中症対策は罰則付きで義務化。建設現場をはじめとする屋外労働の現場は対応を迫られている
- ・当社グループの冷凍冷蔵物流倉庫と保管サービス「COLD X NETWORK」を活用し、大正製薬の熱中症対策商品を凍った状態のまま建設現場へ配送
- ・対象は東京都・宮城県・福島県・山形県の建設現場10拠点、作業員約2,000人、届ける商品は計6,000個
- ・物流インフラを「人の安全・健康を守る取り組み」に応用する、新しい社会実装の一例
- ・熱中症対策商品は常温納品が通例で、現場側が自ら冷やす手間が課題だったが、納品先を当社倉庫にすることでこの手間を解消

■プロジェクト概要

実施期間	2026年8月中（予定）
対象	建設現場作業員 約2,000名 （国内大手ゼネコン7社が手がける建設現場10拠点）
実施エリア	・東京都（中央区・港区・調布市） ・宮城県（仙台市・黒川郡） ・福島県伊達市 ・山形県天童市
提供商品	・リポビタンアイススラリー ・リポビタンゼリー 
提供予定数	各種3,000個

■霞ヶ関キャピタルコメント



当社が担えるのは、あくまで「冷凍・冷蔵で保管し、必要な場所へ届ける」という物流インフラの部分に限られており、実際にお届けする商品そのものは持ち合わせていません。今回、大正製薬様が「商品を凍った状態のまま届けたい」という課題を抱えていらしかったことと、当社の冷凍・冷蔵物流インフラが重なり合い、自社商品を快くご提供いただけたことで、この取り組みが実現しました。年々厳しさを増す猛暑の中、屋外で働く方々の熱中症リスクは社会全体で向き合うべき課題だと考えています。お互いの強みを持ち寄ることで、猛暑下の建設現場という「本当に必要とされる場所」へ、確かな温度管理のもとで商品を届けることができました。当社は、冷凍・冷蔵物流を日常の利便性のためだけ

でなく、こうした社会課題の解決にもスポット的にご活用いただけるインフラとして育てていきたいと考えており、この活用の輪を今後も広げてまいります。

■大正製薬コメント



近年の猛暑により、屋外で働く方々の熱中症リスクは年々高まっており、企業としても向き合うべき重要な社会課題であると認識しています。当社としても、現場で実際に役立つ形での熱中症対策の在り方を模索する必要があると考えてきました。本プロジェクトでは、凍った状態で摂取できる「リポビタミンアイススラリー」と、手軽にエネルギー摂取が可能な「リポビタミンゼリー」を提供することで、酷暑下の現場で働く作業員の方々を支援します。今後も当社は、社会課題の一つである熱中症対策に対し、継続的に向き合っておりま

■霞ヶ関キャピタルグループのインフラ事業

国内では冷凍食品需要や EC 市場の拡大により、冷凍冷蔵倉庫の不足が深刻化しています。当社グループは、この課題に対して開発と運用の両面からアプローチし、冷凍冷蔵インフラを構築しております。倉庫ブランド「LOGI FLAG」を通じて冷凍冷蔵倉庫を各地に開発・供給する一方、グループ会社 X NETWORK が運営する「COLD X NETWORK」により、1 日 1 パレットから利用できる WEB 完結型の冷凍保管サービスも提供。大口の荷主から小口の事業者まで、規模を問わず冷凍保管のニーズに応えられる体制を構築し、物流現場の課題解決に貢献しています。

【報道関係者からのお問合せ先】

霞ヶ関キャピタル株式会社 インフラインベーション戦略本部（PR 担当：大浜）
電話：03-6630-0997／メールアドレス：PR@kasumigaseki.co.jp